



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE
KANAZAWA 2030

子育て支援活動とSDGsについて

2021年7月19日

国連大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
永井三岐子

永井三岐子 (ながい みきこ)

- 金沢生まれ
- 金沢泉丘高校卒業（海外に憧れる子）
- 上智大学大学外国語学部フランス語学科
- 政策研究大学院大学（国際開発学修士）
- フランスで不動産会社勤務
- モンゴルで草原管理について（JICA専門家）
- 東京で気候変動に関する研究（国連大学）
- タイで気候変動と水資源に関する研究（JICA-JST）
- 2014年から現職
 - ユニバーサルデザインいしかわ理事
 - 能登SDGsラボ運営委員
 - 金沢レインボープライド理事



国連大学 サステナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわオペレーティングユニット (Operating Unit Ishikawa/Kanazawa :OUIK)



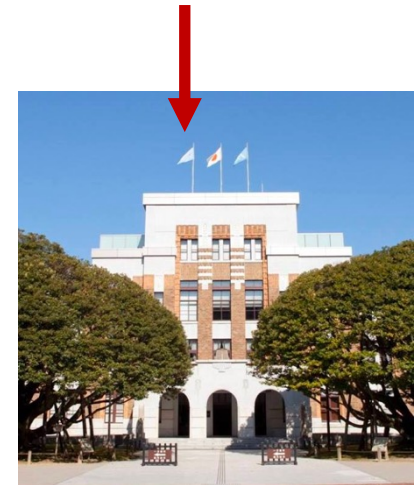
金沢に国連機関があるんです!!



国連本部(NY)、ユニセフ(NY)、
ユネスコ(Paris)、WHO(ジュネーブ)、
UNEP(ナイロビ)、
FAO(ローマ)....



国連大学(東京)
1970年設立
サステナビリティ高等研究所



国連大学
サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわ
オペレーティング・ユニット

いしかわ・かなざわオペレーティングユニット (Operating Unit Ishikawa/Kanazawa :OUIK)

地域と地球の豊かさを研究するユニット

設立: 石川国際協力研究機構を前身として2008年に石川県、金沢市、国連大学IASにより設立。 国連大学IASが国内に持つ唯一のフィールドオフィスとして活動13年目。

目的: 石川の豊かな生物文化多様性、里山里海保全、活用のための研究による政策提言から持続可能な地域作りに貢献する

アプローチ 1) 地域多様な主体、グローバルパートナーとの協働と **共同研究**
2) 協働を通じた **人材育成**
3) 地域からの学びを **国際ネットワーク**で発信、**地域にフィードバック**

グローバル・ネットワーク

- 生物多様性条約・愛知目標 (CBD) 2010-2020
- 能登の里山里海 (FAO世界農業遺産) 2011-
- 金沢市・ユネスコ創造都市ネットワーク 2009-
- 白山ユネスコエコパーク (UNESCO MAB) 2016(拡張登録 -
- **持続可能な開発目標 SDGs 2015-2030**





Sustainable Development Goals (持続可能な開 発目標) とは？

- 「2015年9月の国連「持続可能な開発」サミットで全会一致で193の加盟国が採択
- 『誰も取り残されない』世界を実現しようという壮大な試み
- これまでの環境問題と開発問題を統合
- 各国代表、NPO、研究機関、国際機関、市民社会など多くの人に参加し、策定に3年をかけた

具体的に言うと？

- 国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成する行動計画です
- 2030年に向けた**17の大きな目標**と、それらを達成するための具体的な**169のターゲット**で構成されています



途上国の開発課題の積み残し



1. 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



2. 飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



3. すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



4. 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

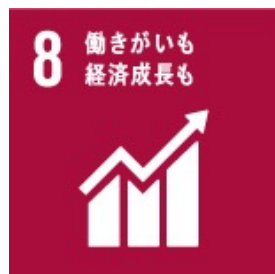


6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

私たちの生活にも関連の深いゴール



7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



8. 働きがいも経済成長も
すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



10. 人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の格差を是正する



11. 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



12. つくる責任 つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する

地球全体のゴール



13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



16. 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



14. 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



17. パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



15. 陸の豊かさを守ろう
陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

SDGsの3層構造



2030年のありたい姿

17のゴール

169の具体的な目標

達成度合いを測る232の指標



具体目標1-1

2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。

指標1-1-1

国際的な貧困ライン(1.25\$/日)を下回って生活している人口の割合(性別、年齢、雇用形態、地理的ロケーション(都市/地方)別)

具体目標1-2

2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。

指標1-1-1

各国の貧困ラインを下回って生活している人口の割合(性別、年齢別)

指標1-1-2

各国の定義に基づき、あらゆる次元で貧困ラインを下回って生活している男性、女性及び子供の割合(全年齢)



具体目標4-2

2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

指標4-2-1

4.2.1 健康、学習及び心理社会的な幸福について、順調に発育している5歳未満の子供の割合(性別ごと)

指標4-2-2

小学校に入学する年齢より1年前の時点で体系的な学習に参加している者の割合(性別ごと)

日本にあてはまる指標は多くない😞（一説には5%とも）

「持続可能な開発」とは？

未来の世界中の子供達が我々と同じような豊かな生活を送れるように、私たちの世代で様々な資源を使い切らないようにすること。私たちの社会の不公平な部分を少なくしておくこと



経済



社会



環境



SDGsの広がり

政治・行政



- SDGsアクションプラン2019(女性活躍、地方創生、中小企業)
- SDGsジャパンアワード
- 金沢SDGs未来都市認定(2020)

企業

- 国連グローバルコンパクト
- 経団連が憲章の改定
- Society 5.0



市民社会・生活

- 「誰も取り残さない」
- エシカル消費
- 地産地消
- 豊かさとは？

学び

- (ESD) Education for sustainable Developmentから
- SDGs教育により課題解決型人材育成を目指す(学習指導要領)
- 社会教育



金沢SDGsのこれまで

2018年7月
3者協定締結

金沢市、金沢青年会議所、
国連大学の3者が
SDGs推進協力を確認



2019年3月
金沢SDGs共同宣言
IMAGINE KANAZAWA 2030 発足



4月 第1回SDGsカフェ

誰でも気軽に金沢のミライを
イマジンする場



6月 SDGsミーティング開始

市民が2030年のありたい姿を議論し行動計画策定へ

12月 公式ホームページリリース(日英)

2020年3月
金沢ミライシナリオ完成

7月SDGs未来都市認定



～持続可能な観光～

6月 IMAGINE KANAZAWA2020
推進会議設置

2020年～金沢ミライシナリオを実践するための取り組みへ
パートナー募集

金沢SDGs「5つの方向性」

金沢市、公益社団法人金沢青年会議所、

国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットの3者は、

金沢らしいSDGsの取り組みについて議論を重ねてきました。

金沢でSDGsを効果的に進めるにあたり、「金沢の風土、歴史、文化を踏まえること」、

「経済、社会、環境の3つの側面を包括的に捉えること」という視点から5つの方向性を導きました。

今後、さまざまな主体とともに、実現に向けた行動計画を策定します。



**1 自然、歴史、文化に立脚した
まちづくりをすすめる**



古くて
新しくて
心地よいまち

金沢の地形は、山地、台地、平野、河川などから構成されています。

起伏豊かな地形を土台に歴史や文化が蓄積され、今日では生物文化多様性に富み保存と開発の調和がとれた創造都市として国内外へ独自性を放っています。

こうした金沢の自然、歴史、文化の価値をさらに高め、住む人の目線で心地よいまちづくりをすすめます。



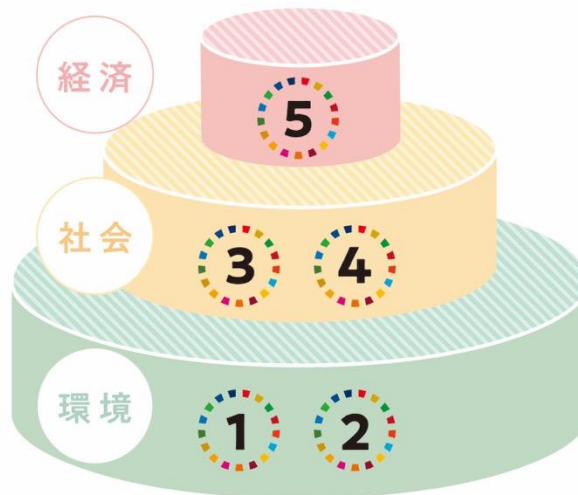
**2 環境への負荷を少なくし
資源循環型社会をつくる**



“もったいない”が
ないまち

持続可能な社会を実現するには、環境への負荷を軽減し、限りある資源を循環させる仕組みや技術を導入することが重要です。

個人のライフスタイル、あらゆる企業活動、地域活動において、二酸化炭素排出量の抑制、再生エネルギーの導入、フードロスの解消、ごみの資源化などをすすめます。



**5つの方向性に基づき
さまざまな人や組織と
協働で取り組みます。**

協働のパートナーは、市民、地域、NPO、企業、行政などすべての主体です。

持続可能な開発は「環境」「社会」「経済」の3つの層を統合させて解決することが必要だと考えられています。金沢がこれまで固有の自然や地形などの環境を基盤として地域社会が形成され、独自の産業などが発展してきたように、2030年に向けた金沢SDGsの5つの方向性も、この3つの層の成り立ちや関わりを意識しています。



**次代を担う子供たちの
可能性を引き出す
環境をつくる**



子供がゆめを
描けるまち

「当たり前の生活」を享受できない相対的貧困が社会問題となっています。

生まれ育った家庭の経済状況や障害などに左右されることなく、すべての子供が安心して個性豊かに育つことができる環境をつくりします。

また、教育格差の是正や、文化や芸術などを通じて子供の自己肯定感を高める活動に、学校、地域、NPOなど多様なステークホルダーとともに取り組みます。



**誰もが生涯にわたって
学び活躍できる
社会風土をつくる**



働きがいても、
生きがいても
得られるまち

人生100年時代においては、仕事と仕事以外の生活を調和させ、その両方を充実させることが欠かせません。

多様な人材が、ライフステージや能力に合わせた柔軟な学び直し、働き方の選択ができる社会風土を醸成します。



**文化や産業に
革新的イノベーションが
起きる仕組みをつくる**



新しい
もの、ことを
生み出すまち

AIなどの技術の進化がより加速する反面、持続可能な経営や中長期的な企業価値が問われる時代になっています。

こうした背景を踏まえ、金沢の強みである文化の成長産業化や起業支援、学術機関やNPOなどとの連携、人材の多様性の推進など、創造性・革新性の向上に向けた仕組みをつくりします。



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE
KANAZAWA 2030

140を超える個人、団体、企業
がパートナーシップでプロジェクト
を作る

会員インタビュー



パートナーズ

会員インタビューvol.08 浄土宗 安養山 弘願院

2021.06.24



パートナーズ

会員インタビューvol.07 株式会社のっぽくん

2021.02.15



パートナーズ

会員インタビューvol.06 加賀建設株式会社

2021.02.05



パートナーズ

会員インタビューvol.05 キャラバンサライ株式会社

2021.01.28



パートナーズ

会員インタビューvol.04 一般社団法人コード・フォー・カナザワ
(Code for Kanazawa)

2021.01.21



パートナーズ

会員インタビューvol.03 NPO法人World Theater Project (ワ
ールドシアタープロジェクト)

2021.01.10



パートナーズ

会員インタビューvol.02 農事組合法人One

2020.12.10



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE

KANAZAWA 2030

SDGsカフェ

2030年の金沢をイメージしよう

レポートページ
はこちら！



YOU TUBEはこちら！



2019年4月から開始



2030年の金沢をイメージしよう



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE
KANAZAWA 2030

1. 2019年4月 未来の教育—こんな学びの場が欲しい
2. 5月 Civic techと誰も取り残さない情報アクセス
3. 6月 Most Likely to Succeed 上映会
4. 6月 今求められる教育
5. 7月 こんな会社があったら金沢で働きたい！
6. 9月 文化のまちづくり
7. 10月「気候変動危機」—金沢のアクションをみんなで考える—
8. 11月 つながり助け合うのに必要なことは？ — 新しいパートナーシップのあり方を考える
9. 2020年 1月 金沢の未来の交通
10. 2月 スポーツ x SDGsから考える金沢の可能性
11. 4月 持続とは変化!?!—with コロナ時代の働き方—
12. 6月 金沢にESG投資が根付くには
13. 8月（番外編）高校生連動企画「理想の教育とは？」
14. 9月グリーンインフラ —市民全員が庭師になろう—
15. 10月もったいないがないマチにむけて —エネルギーの地産地消を考える—
16. 2021年1月 当事者から学ぼう—多様な働き手とダイバーシティ経営
17. 5月 金沢発！ 経済の地域循環とCO2削減を実現するグリーンボンドのしくみを学ぼう！

参加型で作った金沢ミライシナリオ



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE

KANAZAWA 2030

深く議論したい！

SDGs ミーティング

金沢がめざす2030年の姿や
金沢独自の評価軸を議論する
ステークホルダー会議



ありたい姿を共有
+
そのために何をする？
+
誰が？お金は？



金沢が変わろうとしています



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE

KANAZAWA 2030

7月1日金沢市でパートナーシップ宣誓制度の導入開始



金沢市パートナーシップ宣誓の取扱いに関する要綱に基づき、
パートナーシップ宣誓書を受領したことを証します。

金沢市は、すべての市民が多様性を認め合い、
人権を尊重し合う社会の実現を目指しています。

お二人が自分らしくいきいきと暮らし、

お互いを人生のパートナーとして、

力をあわせて末永くご活躍されることを期待しています。

私の中で転機になったのは、去年の7月金沢市の内閣府のSDGS未来都市に選定されたことです。そのベースに、金沢ミライシナリオという行動計画があります。その中にもLGBTフレンドリーな街というふうに明記もされています。自分らしさというものを表にだして、生き生きと生活をし、住み続けられることが出来るような街を目指すことがまさにSDGS未来都市です

山野之義市長6月議会答弁より

金沢が変わろうとしています



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE

KANAZAWA 2030

• 地域の学びを、SDGsで時代に合わせる

60を超える公民館で60年続いた女性学級→SDGs学級に
菊川町公民館の事例：

リーフレット作成
全戸配布 (2152世帯)



きくがわ土曜講座における
マップづくり活動の成果発表

発表者 北陸大学学生

危険箇所と改善策の提案



北陸大学の学生さんとのコラボ

その他：しめ縄造り、寄せ植え講座などを
SDGs的視点で再点検



国連大学OUIKと蛍調査 & 鑑賞会

金沢が変わろうとしています



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE

KANAZAWA 2030

会員インタビューvol.08 浄土宗 安養山 弘願院



「食」と一緒に「心」も届け

おそなえ・おさがり・おすそわけのフードドライブ

学びあいのステージへ!



朝とれもんプロジェクト
朝セリ視察ツアー
(2020年12月)

学び:

- 漁師さんの労働環境改善
- 一匹からでも競り落とす
- 地産地消でCO2排出削減
- 消費者、小売などバリューチェーン全体の協力が必要!



金沢の変化を数字で見えていきます



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE

KANAZAWA 2030

数字で見る金沢のイマ

いつもの金沢を「数字」で見ると、違った金沢の姿が見えるかも



環境編

社会編

経済編

就学援助を受けている 児童・生徒の割合

就学援助
認定率
15.5%



小中学生の7人に1人が、
援助を受けているんだね。

※「就学援助認定率」は、全児童・生徒に占める援助を受けている割合
※就学援助は、小中学校の就学に必要な学用品学用品費や給食費、郊外活動費などの一部を援助する制度
資料:金沢市教育委員会事務事業 点検・評価報告書(令和元年執行分)

「自分にはいいところがある」と 感じている児童・生徒の割合

「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」
(金沢市)

81.7%



小学生

74.0%



中学生

中学生になったら減ってしまうのはなんだろう...

世界との比較「自分には長所がある」

91.4%



ドイツ

91.2%



アメリカ

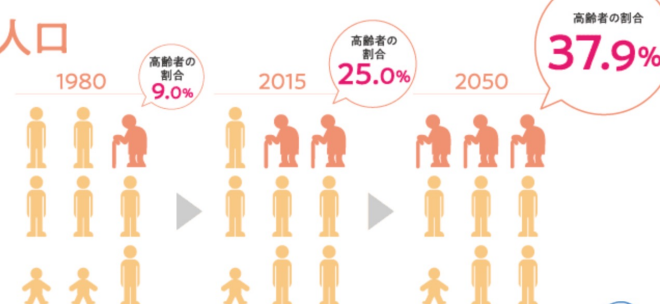
62.2%



日本

【金沢市】

年代別人口



人口の構成が変わったら、
どんな社会になるんだろうね



あなたのSDGs度をチェック！



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE
KANAZAWA 2030

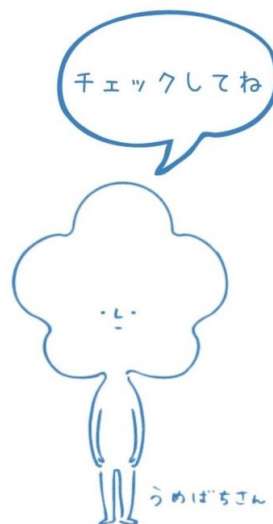
The screenshot shows the 'セルフチェッカー' (Self-Checker) page. It has a header with the IMAGINE logo, a search bar, and navigation links for News, Events, Reports, Partners, and SDGs. The main title is 'あなたの「イマ」がわかる セルフチェッカー'. Below it, there are two questions:

Question 1
町会のお祭りに参加したり、季節の和菓子を楽しんだりなど、祭礼や季節の行事を大切にしていますか

Buttons: よくあてはまる, ややあてはまる, あまりあてはまらない, あてはまらない

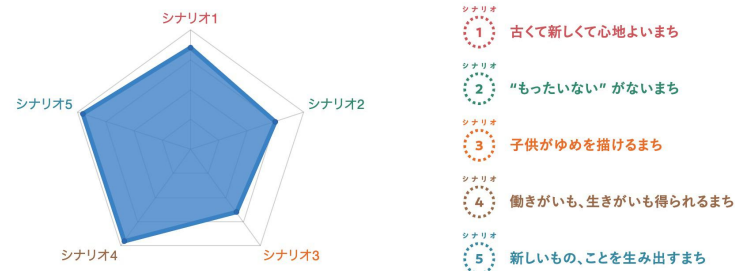
Question 2
住んでいる地域の「いいもの探し・いいこと探し」をしていますか

Buttons: よくあてはまる, ややあてはまる, あまりあてはまらない, あてはまらない



83点 / 100点中

あなたのふだんの生活が、1～5のどのシナリオのアクションにつながっているか見てみましょう。
点数の高いシナリオは、あなたが興味を持っていたり、気づかないうちに実践していたりするシナリオです。



方向性 3 子供がゆめを描けるまち



想像してみよう 金沢のミライ

IMAGINE

KANAZAWA 2030

金沢市 子どもの**貧**困対策基本計画



アンケート調査結果から、相対的貧困層では、「子どもの就学に係る費用の軽減」、「就職・転職の支援」、「住宅費の軽減」、「一時的に必要な資金が借りられること」といった経済状況に関する支援を希望する割合が高くなっています。経済的な支援以外では、「子どものことに関する相談・支援」「同じ悩みを持つ人との交流」のほか、「市役所等の手続きを一緒に行ってくれること」が求められています。

本市にはすでに多種多様な相談窓口や支援制度があるにもかかわらず、必要な人に必要な情報が行き渡っていない可能性があることが見えてきました。

能登の小学生に里山里
海の価値を理解してもら
うには、どんな方法があ
りますか？



地域資源(里山里海)の価値を次世代に

ごっつおをつくろう



- まつりのご馳走から、生態系サービスや地域文化を辿る絵本（小学校低学年向け）
- 監修には、地域の生態学者、地域文化の専門家、デザイナーなど専門家
- 小学校、地域の公民館、保育園での読み聞かせ。
- 授業での展開を模索するため、能登地域教育関係者と協議中。



おとなのための解説

■絵本「ごっつおをつくろう」について

この絵本は、能登に住む主人公のゆなととが、一年を通しておじいさんとおばあさんに教えてもらいながら秋祭りのごっつお(ご馳走)作りを体験するストーリーです。主人公と一緒に、身近な里山や里海での米や野菜づくり、魚や山菜の調達、味噌づくりなどの体験を通して、能登の農業の仕組みや生態系や伝統知識の面白さや不思議さも学ぶことができます。この絵本が、能登ならではの環境を活かした、見る、聞く、触る、味わう、嗅ぐといった五感を使った能動的な学びや体験を子供たちが得るきっかけになれば幸いです。

能登の里山里海は2011年に世界農業遺産に認定されました。昔から能登で営まれてきた自然の恵みを活かした生活様式(ライフスタイル)には、持続可能な社会の実現のためのヒントが含まれており、世界的にも価値を持つものと言えます。

■絵本の活用の仕方

この絵本は特定の地域に限定せず、能登らしい要素をまとめて作られたものです。それぞれの場面に能登のおばあちゃんや地域の知恵や生き物・生態系とのつながりなどの情報も盛り込まれています。子供たちが自分で読んでみても楽しめるように作られていますが、自分たちが住む地域との違いや共通点を比べながら先生やお友達と一緒にさらに詳しく考えたり、調べ学習を行ったりすることにより、もっと楽しく地域のことを学ぶことができます。

この絵本に出てくるさまざまな素材をキーワードにご紹介します。
(※カッコ内に該当する絵本のページ番号が記してあります。)

■秋祭り (P2, P14右) 能登では自然の恵みへの感謝、そして豊漁や豊作を祈願して多くの地域でそれぞれ特色ある秋祭りが毎年行われています。絵本のお祭りの様子と自分たちの地域のお祭りを比べたり、他の地域のお祭りを調べたりすることにより新たな気づきがあるかもしれません。



「石川県能登半島に広がる」能登の里山里海は、国際連合食料農業機関(FAO)により世界農業遺産(GIAHS)に認定されました。この認定は、その土地の環境を生かした伝統的な農耕漁法や生物多様性が守られた土地利用、農村の文化や景観などが一体となって維持保全がはかられている世界的に重要な地域を、後世に引き継ぐことを目的としています。現在、宝達志水町以北9市町が含まれています。



秋祭りのお神輿(能登町)

教育制度
教育要項

地域の
教育

学校
カリキュラム

先生の理解

家庭の
姿勢

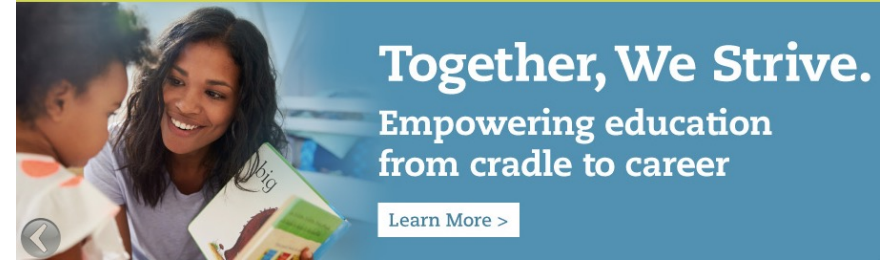
子供の学び

様々な階層からの働きかけ

- 1) 個人 個々人の知識、意識、スキル
- 2) 個人間 家族、友人らの知識、行動からの影響
- 3) 組織 会社、学校、専門機関の慣習、方針
- 4) 地域 地域社会(メディアも)の文化的価値、規範、社会通念
- 5) 法律・政策 地域やビジネスに与える影響



Strive Partnership



- 教育改革プログラム(米国 シンシナティ)
- 「ゆりかごからキャリアまで」を**共通ビジョン**
- 地域の学校、PTA、教員組合、地域学校代表、行政、企業、財団、大学、NPOなど**300以上の団体**が定期的に状況を共有する会合を重ねる
- Striveが協働を呼びかけ
- 大学入学者の増加したい→1)高校中退者を減らす→2)中2の数学→3)小3までの読書習慣→4)家庭での小学校入学準備
- 6つの**指標を設定、毎年計測**
 - 入学準備のできている家庭の数
 - 3年生の読書習慣率
 - 中2の数学の成績
 - 高校の中退率
 - 大学進学率
 - 大学入学準備試験の成績
- Striveは新しいプログラムを開発したわけではない
- それぞれの団体が指標改善のために活動
- 団体間の学び合いが起きている

- 優先順位が違う
- 手法が違う
- 競合する
- 予算規模・システムが違う
- 個別のアピール
- 誰が仕切るのか



個別の取り組みの成果をあげる

社会、地域の中のごく一部にしか影響を与えることができない

孤立したインパクト

- 手法や優先順位が違う団体は新しい仕組みを生み出す
- パイを取り合う競合ではなくパイを広げる仲間
- 支援者によい体験を提供して伝道師になってもらう
- 多様な専門、強みを持つ団体に参加してもらいリーダー権限を分担してもらう

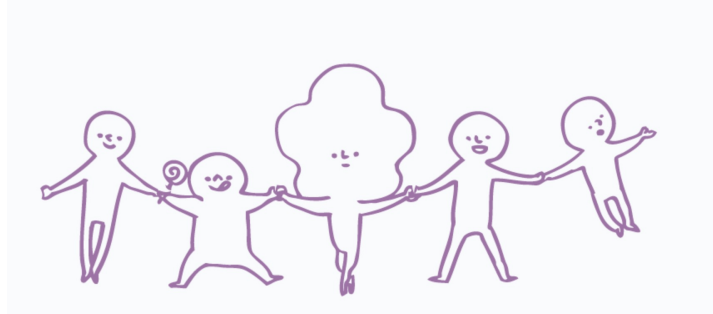
社会システムのシフトの実現へ

集団的なインパクト
(コレクティブインパクト)

コレクティブと協議会の違い

	個別の取り組み	組合・協議会	コレクティブな協働
活動と成果	それぞれの活動でそれぞれの成果を生む	個別活動が集まり、一つの組織として活動し、成果を出す	課題と成果を共有しながら、個別に活動し、成果を生み、集団としての成果も大きくなる
意思決定	各自が意思決定し、他の影響は受けない	集団として意思決定し、個々は従う	全体や他の状況を踏まえ、各自が自ら意思決定する

まとめ



- ◆ できることからやっていく、でも向かう未来はみんなとSDGsで共有しよう！
- ◆ 既存のしくみ、取り組みをSDGsで再評価、アップデートや見直しを！
- ◆ 新しいパートナーシップを生み出そう！
- ◆ 必要な資源は何か、発信を！